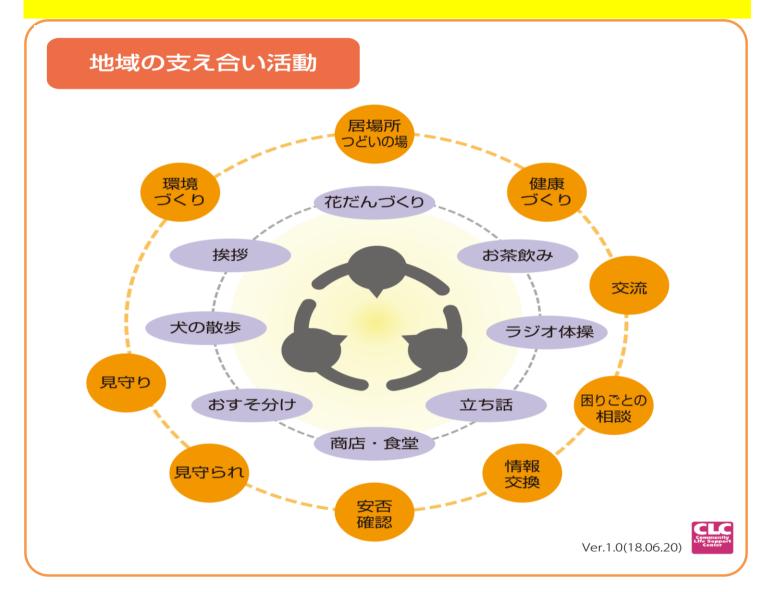
広報紙

つながる通信



発行日 2021年7月21日

みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか?5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していきます。



生活の中の当たり前のお茶飲みは、自然に発生したサロンのようなもの。おしゃべりをすることは立派な脳トレで、同時にお互いの見守り・見守られ、安否確認をしています。さらには情報交換の場になっていたり、困りごとの相談の場だったり。そこからおすそ分けをすれば、家事支援。仲間を車に乗せて一緒に買い物をすれば移動支援にもなっています。

人との繋がりによって、特に意識をしなくても自然と気づかい合い、無理なく自分 たちのできる範囲で支え合いが行われています。「いつものこと」が、実は「地域 の支え合い活動」であり「地域のお宝」になっています。

地域のお宝発見~太田市生活支援体制整備事業~

取材先

◇宝泉地区 由良林

なかよしクラブ



「なかよしクラブは、みんなでお喋りを楽しん・で、みんなでつくる場です。だからスタッフ・話がありません。」と塚越さんははなます。活動費は参加者から会費を集めるのでははないます。活動内容はかかを作り、その収益を活動費に変更を表しています。活動内容はありますが、たかいます。活動内容はありますがあれば、みんなで、当からのではありがあれば、みんなで、みんなで、からのではないます。(現在はは、できなりも楽したので活動できています。ここになって、ます。)と話してくれました。



平成27年、当時区長をしていた塚越さんを中心に「高齢者が気軽に集まれる場所があるといいよね。」と地区の皆さんで考え、林会館でお茶やお菓子を持ち寄ってお茶のみを始めたのが、なかよしクラブの始まりです。平成28年から1%まちづくり事業を活用し、編み物・吹き矢・将棋・麻雀・体操・カラオケ・卓球など様々な内容で月に8回活動してきました。昨年はコロナウイルスの影響で3月~5月はお休みしていましたが、再開を求める声が多く、マスク・検温・換気など対策を徹底し、活動は新しくビデオ鑑賞を入れるなど、様々な工夫をしながら少しずつ活動を再開しています。



マスク・消毒・換気・十分な 距離を取るなど様々な対策 を摂りながらのビデオ鑑賞

文化祭で展示・販売 する手作り小物



なかよしクラブには林地区以外の人も参加しています。塚越さんは「お友達は同じ地区内だけではないですし、『みんな仲良く』がここのモットーです。ここに来た人が自分の地区に戻って『うちの地区でもやってみよう』となり、色々なところに居場所が増えたらさらにいいなと思います。」と話してくれました。

新型コロナウイルスの影響で、以前と同じように活発な活動はできませんが、たくさんの人が活動の再開を喜び、各自でしっかり対策をしながら、顔を見て笑顔でお喋りを楽しんでいました。

(R2.12月取材)

お宝情報を募集中!「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけ合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで!

チェックポイント

- できることを探して工夫しながら 活動を再開!
- ・ お互いに元気な姿を見ることで 元気をもらう!



お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係 〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549 電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032